

接写撮影法によるアーカイブ化

－撮影記録－

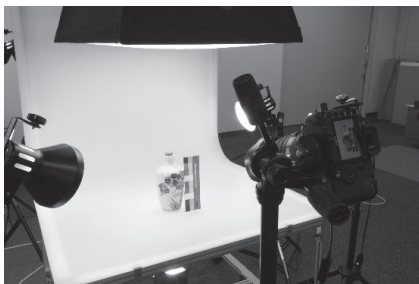
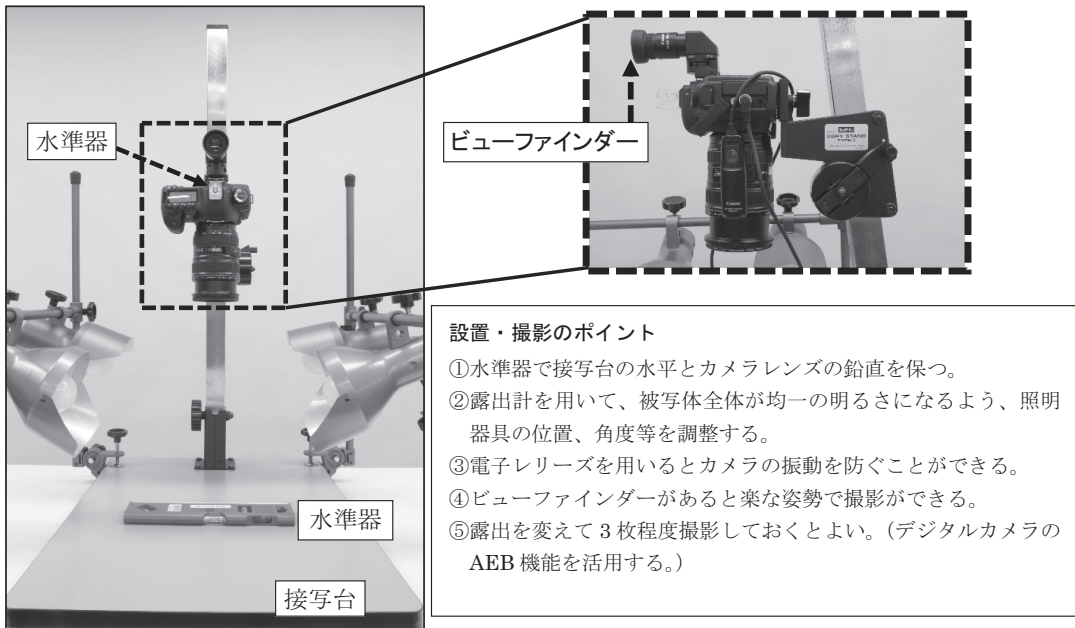
佐藤 正明*¹

■撮影目的

古文書、絵画、掛け軸、古地図等の記録保存
陶器、仏像など立体物の画像保存

■撮影機材・方法

デジタルカメラ、接写レンズ、接写台（撮影装置）、照明器具、電子リリース、水準器（台用、カメラ用）、カラーチャート、ビューファインダー、露出計



撮影装置を活用した接写撮影

- ①立体物は左図のように半透明のプラスチックでできた撮影装置を活用する。
- ②撮影装置の上下左右から照明光を当てる。特に下方から照射することで、影を軽減することができる。

絵画、巻物のような大型資料の撮影

一回では撮影できない場合は、いくつかの部分に分割して撮影し、画像処理ソフトを用いてつなぎ合わせるとよい。その際、画像間で重なる部分を設けること。（三分の一～四分の一重ねるとよい。）

*1 佐藤 正明 岐阜女子大学